
PersonaNonGrata

仁科祥司

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

P e r s o n a N o n G r a t a

【Nコード】

N 7 4 3 3 C

【作者名】

仁科祥司

【あらすじ】

本編より抜粋そして彼は一つのドアの前に立っていた。色とりどりのステンドグラスが嵌め込まれ、上にベルがついており、また両側の壁には鈍いオレンジ色の光を放つランタンがぶらさがっている。「なんでこんなところに…ドアが？」ドア中央に架けてある『OPEN』と書かれた木製のプレートをみて、彼はドアノブに手をかけた。

悲劇を忘れた少女に捧げるウヴェルテュール第一篇（前書き）

SFにするべきか、ファンタジーにするべきか。

迷うところがありました。がジャンルはSFにしました。

特に情景描写に力をいれて臨場感が出るように書いた

つもりですが、文章力の低さとボキャブラリーの無さが

露呈したかも…。

そのあたり大目にみつ、お楽しみください。

悲劇を忘れた少女に捧げるウヴェルテュール第一篇

行き交う人々の話し声。雑踏。耳障りなネオンサインの放電音。しとしとと降る小雨が地面を打つ音。車のクラクション。居酒屋から聞こえる歓声。自転車のブレーキ音。怒号。罵声。サイレン。何かの割れる音。自転車のベル。

それらその街を構築する全ての物に不快感を感じ、俺はその日幾度目かの嘔吐をした。青いビニール袋とポリバケツ、散乱したワインボトル、生ゴミの腐臭。

大通りに面した建物の路地裏で、背を丸め口をあけ胃の中身を搾り取るようにして吐き出す。

「ぐっ…ゲホッ…くそつたれ…」

吐瀉物の味のする唾を吐き捨て、悪態をつく。

そのまま建物の壁に背をあずけ、建物と建物のわずかなすきまから空をみた。

「ああ…とうとうやっちゃったな…」

そう、呟いたと同時にポタ　ポタと顔に大きな雨粒が落ちてくる。

「やべっ…降ってきたな」

どこかで雨宿りしようと視線を動かすと、路地の奥に微かな光があることに気付いた。

無言で、吸い寄せられるように路地の奥へと歩を進める。

奥にすすむにつれ、ひんやりとした空気が身を包む。

やがて人々の喧騒が消え、いつのまにか雨が止んでいる。

そして一つのドアの前に立っていた。

色とりどりのステンドグラスが嵌め込まれ、上にベルがついており、また両側の壁には鈍いオレンジ色の光を放つランタンがぶらさがっている。

「なんでこんなところに：ドアが？」

ドア中央に架けてある『OPEN』と書かれた木製のプレートを見て、ドアノブに手をかけた。

カランコロン：とベルが鳴る。

ドアをあけるとまず濃い古い木の匂いが鼻をついた。

中にはいると階下に高さ4メートルはあろうかという巨大な扉が姿をあらわした。

金の彫刻と見事な彫刻が施されている。

あたりを見まわすと左右に緩やかなカーブをえがいた階段が階下に伸びている。

（どうやらここは二階のようだ：）

扉の存在感に飲まれつつも、歩を進める。

そのまま扉の前まで歩いていき、そして改めて扉を見上げ息をのんだ。

木でできたその扉は四隅が見事な金の装飾が施されていた。

中央には大理石でつくられた、天使や十二星座をモチーフにしたらしい彫刻が

それぞれ左右の扉に嵌め込まれている。

素人目にも見事としか言い様がないものだ。

「久しぶりの訪問者ですね」

突然かけられた言葉に驚いて振り向く。

「その彫刻、見事でしょう。作者はわかりません。僕がここに来たときから既にありましたから」

左右に分かれた階段の真下にホテルのフロントの受付にあるような木製の机があり、

机上には『Guide』と書かれたプレートが置かれている。

そして机の向こうに若い男がイスにすわってこっちをみていた。

悲劇を忘れた少女に捧げるウヴェルテュール第一篇（後書き）

まず小説を読んでいただけた事に御礼申し上げます。
今作品はこのサイトで最初に投稿する作品なだけに
心をこめて書きました。

少しでも情熱が伝わればと思います。

稚拙な文章ですが、応援していただけたら嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7433c/>

PersonaNonGrata

2010年12月31日01時07分発行